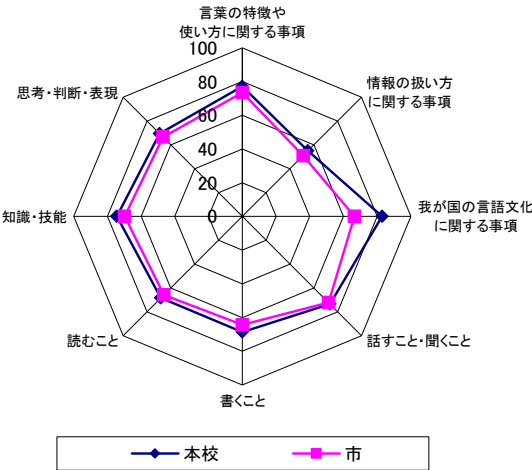


宇都宮市立横川東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	77.1	73.5	74.4
	情報の扱い方に関する事項	55.0	51.0	51.5
	我が国の言語文化に関する事項	82.9	66.5	68.8
	話すこと・聞くこと	73.6	72.3	73.7
	書くこと	68.6	64.3	66.6
	読むこと	68.3	65.8	64.9
観点別	知識・技能	74.4	69.8	70.8
	思考・判断・表現	69.5	66.5	67.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均を上回っている。 ○三字の熟語の成り立ちについての問題において、市の平均を18.8ポイント上回っている。 ●敬語を正しく使う問題においては、市の平均をやや下回っていて課題が見られる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・ドリルやプリント学習などで定着を図るとともに、日常生活の中で、場や相手に応じた言葉遣いができるように支援していく。
情報の扱い方 に関する事項	平均正答率は、市の平均を上回っている。 ○情報と情報との関係について理解し、目的に応じて文章を簡単に書く問題については、市の平均を6.4ポイント上回っている。	・複数の情報を比較したり、関連付けて考えたりする学習を多く取り入れていく。
我が国の言語文化 に関する事項	平均正答率は、昨年度同様、他の領域より高く、市の平均を上回っている。 ○和語・漢語・外来語についての問題において、正答率が82.9%と、市の平均を16.4ポイント上回っていて、理解できている。	・引き続き、和語・漢語・外来語の由来や、特徴の違いを理解できるよう、文章を比べて読んだり、書き換えたりする活動を取り入れていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均をやや上回っている。 ○インタビューの話の内容を捉える設問では、96.4%と理解できている。また、インタビューの仕方の工夫を選択する設問では、80.2%で市の平均を3.2ポイント上回っている。 ●自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、記述する設問では正答率が44.1%となっており、課題がみられる。	・日頃からペア学習やグループ学習を取り入れ、自分の意見を伝え合う活動を継続して行っていく。 ・話すだけではなく、聞くことにも重点を置き、相手の話に対して質問をするなど、自分の考えを深めることができるようにする。 ・意見の伝え合いだけにならないように、観点を示した上で話し合い活動を行うようにする。
書くこと	平均正答率は、市の平均を上回っている。 ○目的に応じて文章を簡単に書いたり、指定された長さで書いたりすることができている。 ●2段落構成で文章を書く問題では、正答率が市の平均を下回っており、段落の役割についての理解に課題がある。	・どのように段落分けがされているか意識させるようにし、段落の役割について理解できるようにしていく。また、自分の考えや意見を書く学習では、段落や文字数を指定して文の構成を考える活動を取り入れるようにする。
読むこと	平均正答率は、市の平均を上回っている。 ○人物像を具体的に想像する問題では、正答率が91.9%と理解できている。 ●文章全体の構成を捉えて、要旨を把握する問題では、市の平均は上回っているものの平均正答率が45.0%と課題がみれる。	・読書活動を多く取り入れ、幅広い内容の本に触れる機会を増やしていく。 ・文章の内容を読み取り、要旨をまとめる学習に繰り返し取り組ませる。